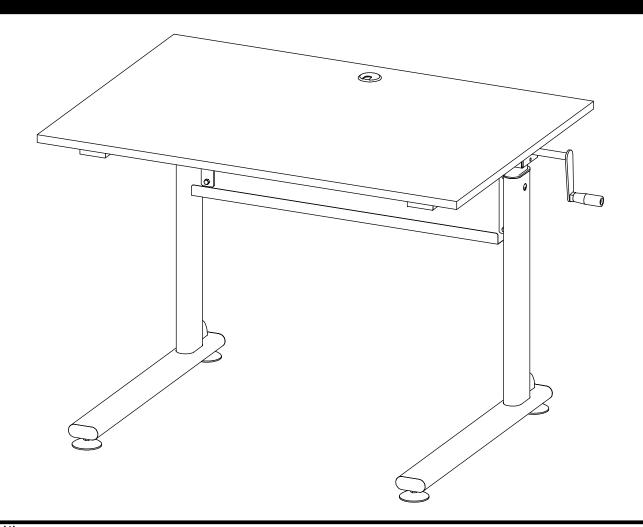
この度は、当社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。 本説明書を組み立ての前に必ずお読みの上、正しくお取り扱い下さいますようお願いいたします。

組み立て時のご注意!

- 組み立てる際は、指先などを傷付けないよう、手袋等を着用して下さい。
- 開封する際は、カッターナイフなどで本体を傷付けないよう十分ご注意下さい。
- 工具類の取り扱いには、十分ご注意下さい。
- 組み立ての際はお子さまに注意し、なるべく広い場所で行って下さい。
- 組立説明書に従って組み立てて下さい。組み立て手順を間違えると、組み立たない場合があります。
- 組み立て手順に従い、ネジ等で確実に止めて下さい。不十分ですと、製品が破損したりケガをする恐れが あります。
- ※ 部材や床などにキズが付かないよう、ダンボールや毛布等を敷いて組み立てて下さい。

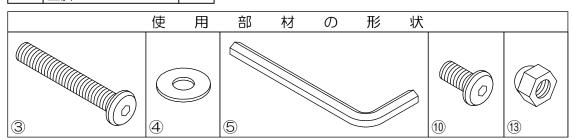
使用時のご注意!

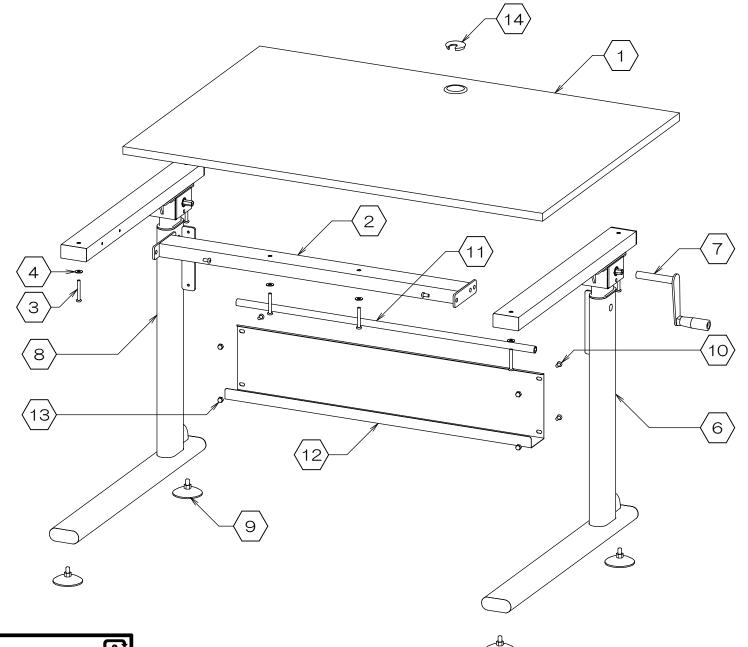
- **絶対に**本製品に乗ったり、重いものを引っ掛けたり、耐荷重以上のものを載せたりしないで下さい。 転倒したり、壊れてケガをする恐れがあります。
- ハンドルは必ず両手で持ち、ゆっくりと回転させて下さい。転倒したり、壊れてケガをする恐れがあります。
- 天板に重いものを載せたまま、高さ調節はしないで下さい。転倒したり、壊れてケガをする恐れがあります。
- 高温のものを直接当てたりしないで下さい。塗装面が変色したり、剥がれることがあります。
- 直射日光や冷暖房器具の風を直接当てないで下さい。歪んだり変色したりすることがあります。
- 分解や改造をしないで下さい。破損したりケガをする恐れがあります。
- 異常を見つけたらそのまま使用せず、製造元へご連絡下さい。
- ※ 改善のため、予告無く仕様を変更することがあります。



組み立てる前に、各部品を確認して下さい。

項目	部品名称	数量	項目	部品名称	数量
1	天板	1	9	アジャスター	4
2	センターフレーム	1	10	ネジ/小	8
3	ネジ/大	6	11	連絡パイプ	1
4	ワッシャー	6	12	タップボックス	1
5	六角レンチ	1	13	袋ナット	4
6	右脚	1	14	グロメットキャップ	1
7	ハンドル	1		(取付済)	
8	左脚	1			





外形寸法: 22-001MH-1=幅1093mm(ハンドル含む)×奥行714mm×高700~850mm 重量: 25.2kg 耐荷重:等分布40kg

22-001MH-2=幅1293mm(ハンドル含む)×奥行714mm×高700~850mm 重量:27.5kg 耐荷重:等分布40kg 22-001MH-3=幅1493mm(ハンドル含む)×奥行714mm×高700~850mm 重量:29.8kg 耐荷重:等分布40kg

主要材料:スチール、パーティクルボード

表面処理:スチール=パウダー塗装、パーティクルボード=メラミン化粧紙貼り

Made in Taiwan G2814-R3

お問い合わせ先

販売元:株式会社 林製作所 072-960-0500 〒578-0925 東大阪市稲葉1-4-50

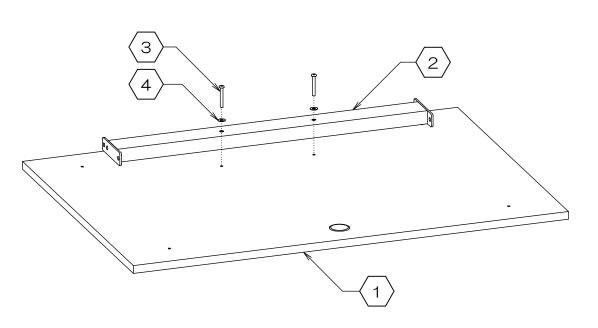
ホームページURL: http://www.hayashi-yumeita.com/

22-001MH-1 22-001MH-2 22-001MH-3

1. センターフレームの取り付け

※ 組み立ては、必ず二人以上で行って下さい。

- ※ 部材や床などを傷付けないよう、ダンボールや毛布等を敷いて作業を行って下さい。
- ①天板を裏返しにして置きます。
- ②センターフレームを③ネジ/大2本と④ワッシャー2個で、天板に**仮留め**します。 (付属の⑤六角レンチをご使用下さい)

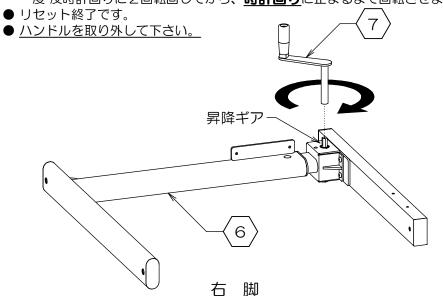


2. 右脚の高さのリセット

※ 工場出荷時に脚の高さを下げて出荷しておりますが、稀に輸送途中に高さが 変わってしまうことがあります。

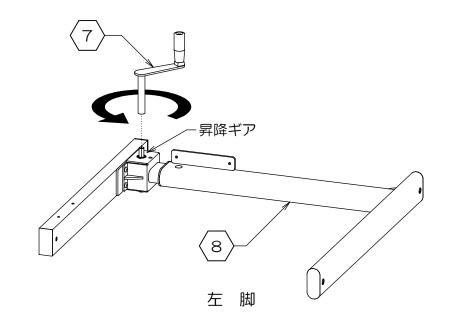
左右の脚の高さが異なった状態で組み立てると、天板が水平になりません。 必ず下図を参考に、脚をリセットします。

- ⑥右脚を下図のように置き、⑦ハンドルを昇降ギアに差し込み、
- 一度 反時計回りに2回転回してから、**時計回り**に止まるまで回転させます。 ● リセット終了です。



| 3. 左脚の高さのリセット

- ⑧左脚を下図のように置き、ハンドルを昇降ギアに差し込み、 一度 時計回りに2回転回してから、**反時計回り**に止まるまで回転させます。
- リセット終了です。
- ハンドルを取り外して下さい。



4. アジャスターの取り付け

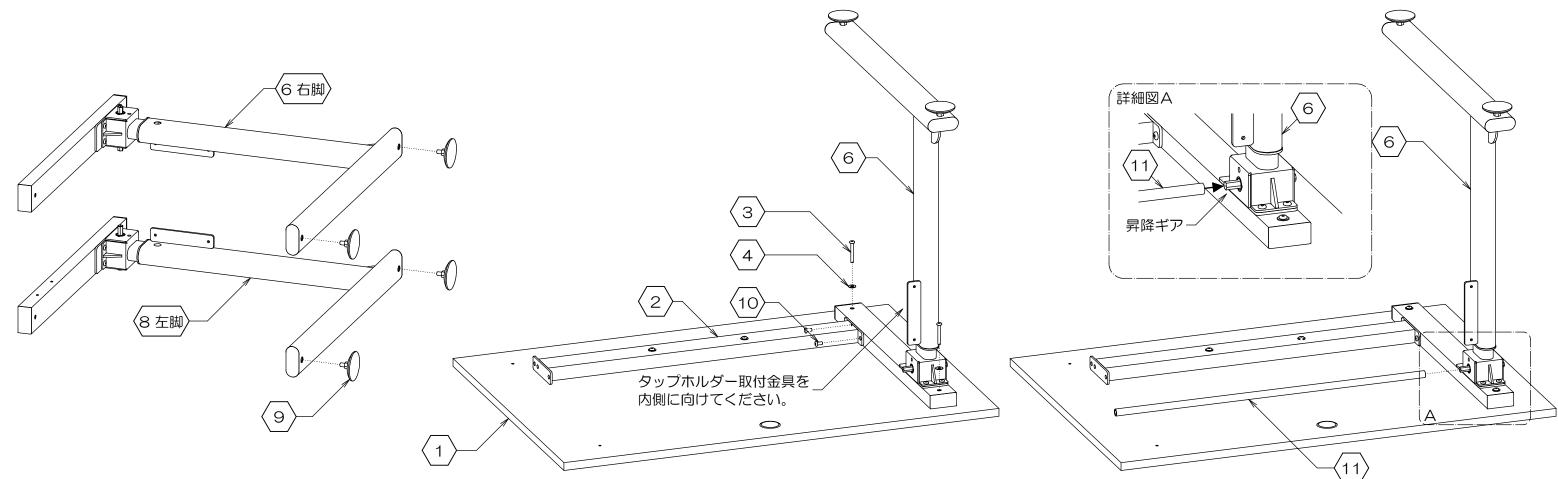
● 下図を参考に、⑥⑧左右の脚に⑨アジャスターを取り付けます。

5. 右脚の取り付け

- ※ 付属の⑤六角レンチを使用して、作業を行って下さい。
- 作業1で仮組みした①天板に、③ネジ/大2本と④ワッシャー2個で、⑥右脚を
- 次に、②センターフレームと⑥右脚を、⑩ネジ/小2本で**仮留め**します。

6. 連絡パイプの取り付け

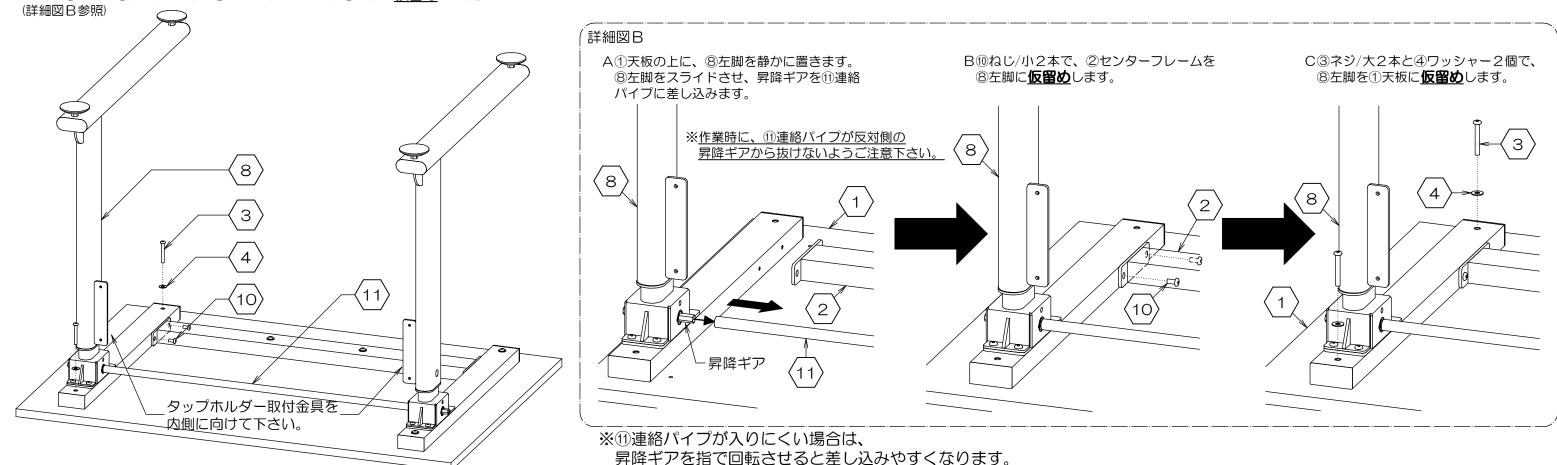
● ⑪連絡パイプを、⑥右脚の昇降ギアに差し込みます。 (詳細図A参照)



★ 天板に脚を取り付ける際は、必ずイラストを参考に、左右を間違わないよう作業を行って下さい。

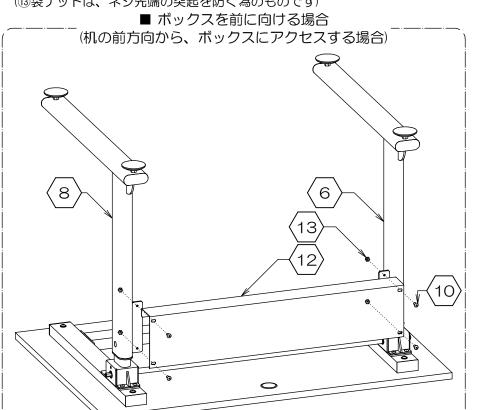
7. 左脚の取り付け

- ※ 付属の⑤六角レンチを使用して、作業を行って下さい。
- ⑪連絡パイプを®左脚の昇降ギアに差し込みながら、⑩ネジ/小で②センターフレームと®左脚を**仮留め**します。
- 次に、8左脚を3ネジ/大2本と4ワッシャー2個で、1天板に**仮留め**します。



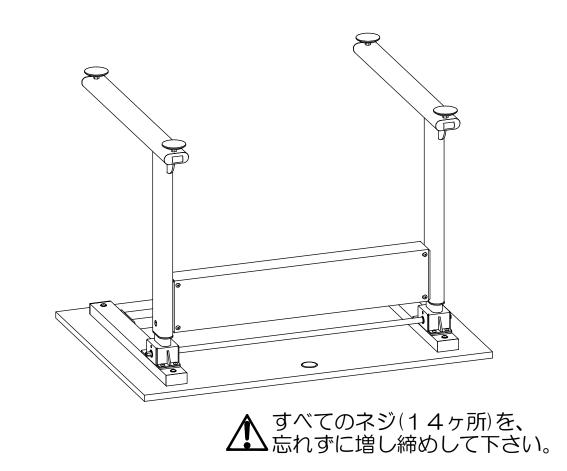
8. タップボックスの取り付け

- ⑫タップボックスは前後 どちらでも取り付けることができます。 お好みに合わせて、組み立てて下さい。
- ⑫タップボックスを下図のいずれか お好みの方向で設置し、⑩ネジ/小4個で⑥⑧左右の脚に**仮留め**します。 (付属の⑤六角レンチをご使用下さい)
- 次に、⑬袋ナット4個を反対側から出たネジに取り付けます。 (⑬袋ナットは、ネジ先端の突起を防ぐ為のものです)



9. ネジの増し締め

- 仮留めしていたすべてのネジを、バランスよくしっかりと増し締めします。
- 注)天板に取り付ける③ネジ/大6本は、必要以上に締め付けないで下さい。 天板からネジが突き出る恐れがあります。



※⑩ネジ/小が締めにくい場合は、⑫タップボックスを少し持ち上げると入れやすくなります。

10. 完成です

- 両サイドにある昇降ギアに、⑦ハンドルを差し込みます。
- ※ 昇降ギアは両サイドにあります。 操作しやすいほうへ取り付けて下さい。
- 完成です。

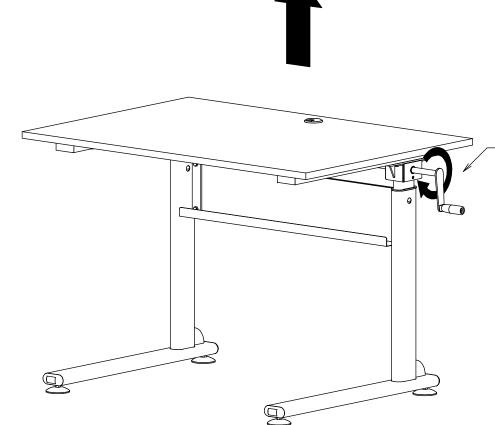




※ 天板が水平になるように、アジャスターを調節して下さい。

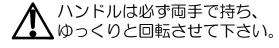
12. デスクの昇降方法

- ※ デスクにものを載せた状態で、昇降作業を行わないで下さい。
- ※ 右図の説明では、ハンドルを右側に取り付けた場合の説明となります。 ハンドルを左側に取り付けた場合は、回転方向を逆にして下さい。

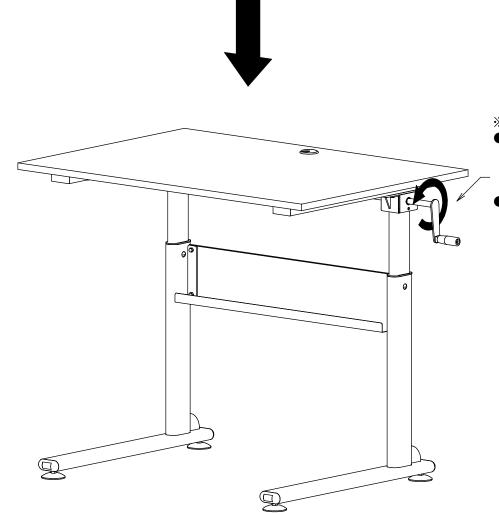


※天板を上げる場合

- ●ハンドルを右側に取り付けた場合 →両手でハンドルを持ち、**時計回り**に 回転させて下さい。
- ●ハンドルを左側に取り付けた場合 →両手でハンドルを持ち、**反時計回り**に 回転させて下さい。



天板に重いものを載せたまま、 、高さ調節はしないで下さい。



※天板を下げる場合

- ●ハンドルを右側に取り付けた場合
- →両手でハンドルを持ち、**反時計回り**に 回転させて下さい。
- ●ハンドルを左側に取り付けた場合
- →両手でハンドルを持ち、**時計回り**に 回転させて下さい。

昇降作業が終了後、ハンドルを 取り外し大切に保管して下さい。